

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

授業科目名	履修時期	授業時数	単位数	授業形態	担当教員名	実務経験の内容	実務経験を活かした教育内容
理学療法評価学Ⅰ	1年次	60	2	講義・実技	村野信之	理学療法士としての臨床経験 11年。(ICU・SCU・急性期・回復期・維持期)	基本的な理学療法評価法の知識習得だけでなく、臨床で多く用いられる評価法や、運動・解剖・生理学との繋がりを意識した演習を行う。
理学療法評価学Ⅱ	2年次	90	2	講義・実技	串木野直樹	理学療法士としての臨床経験 13年(病院:回復期、維持期 老人保健施設 訪問リハビリ)	基本的知識に基づいた、専門的な知識の理解を講義し、機能障害に対する検査・測定方法を、実技や臨床で演習を実施する。 講義の中や他の科目にて学習した理学療法評価における、統合と解釈を講義し、模擬患者による事例検討を実施する。
臨床理学療法Ⅰ	2年次	90	3	講義・実技	大寺健一郎 村野信之	大寺:理学療法士(回復期・急性期・老人保健施設・訪問リハ 他)13年 村野:理学療法士としての臨床経験 11年。(ICU・SCU・急性期・回復期・維持期)	大寺:解剖生理学、疾病学、症候学を基盤とした、中枢神経疾患、遺伝性疾患、自己免疫疾患への理学療法を教授する。 村野:基本的な脳機能、運動障害、病態を学び、神経疾患・脳血管障害・小児領域の臨床で、急性期・回復期・維持期のリハビリテーションの流れを理解し、それぞれの時期で効果的なリハビリテーションの実践を意識した演習を行う。

臨床理学療法Ⅱ	2年次	90	3	講義・実技	長友典子	理学療法士としての臨床経験9年 (急性期、回復期、維持期 (外来、通所リハビリ、訪問リハビリ))	基礎的な解剖・運動・生理学との繋がりを理解し、運動器疾患・脊髄損傷・(パーキンソン病等)の変性疾患の各疾患に対して実際に臨床で実施される評価や理学療法などの演習も行う
臨床理学療法Ⅲ	2年次	90	3	講義・実技	馬場義行	理学療法士としての臨床経験9年 (集中治療室、急性期、回復期、維持期) 認定理学療法士(呼吸)、 呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士、 日本糖尿病療養指導士	基本的な解剖生理学や理学療法の習得だけでなく、臨床で実際に用いられる評価法や呼吸理学療法などの実技演習も行う。
計		420時間	13単位				